

イラク戦争反対！ 日本はこの無法なアメリカの戦争に手をかしてはいけない！

ブッシュ大統領は、今日20日にもイラクに対して戦争を始めようとしています。国連の査察の最中に、そして国連安保理の決議なしに武力攻撃を行う必要性について、何らその根拠は示していません。

国連憲章は戦争を違法とし、国際紛争はあくまで平和的手段で解決することを大原則としています。例外として認める武力行使は武力攻撃を受けた場合と国連安保理が平和に対する脅威や破壊に対する集団的措置として決定した時だけです。今回行おうとしているイラク戦争はどちらも当てはまりません。

このアメリカの無法な戦争に対して、小泉内閣はいち早く戦争支持の意思表示をしました。平和憲法を持つ日本の首相の取る態度としては大変恥ずかしい。日本は、過去の侵略戦争の反省にたって制定された日本国憲法に基づき、国際紛争の解決は平和的解決を追求する責務があるはずです。

大垣市定例議会「イラク問題の平和的解決を求める意見書」全会一致で採択

19日の新聞報道では、全国47都道府県の517議会で「イラク反戦」決議や意見書採択が行われ、今後さらに増えそうということです。

大垣市においても、3月議会の冒頭で、「イラク問題の平和的解決を求める意見書」が全会一致で採択されました。これに先立ち平和と革新をめざす大垣市懇話会から日本共産党の杉原議員の紹介で「イラクへのアメリカの武力攻撃・戦争に反対を求める意見書」の請願が提出されていました。

